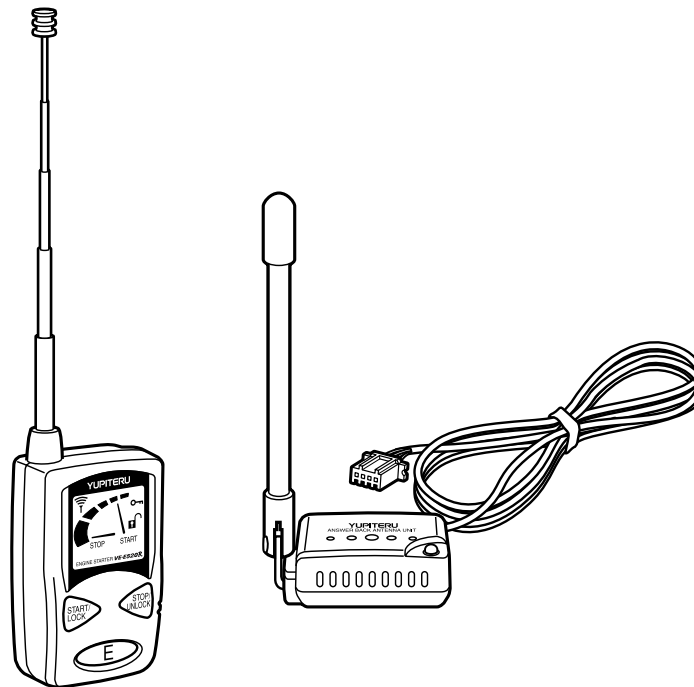
ユピテル工業株式会社
YUPITERU

"双方向"テレコントロールエンジンスターター

VE-E520R

取扱説明書 / 保証書

このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。
お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

- 適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック(AT)車
- キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- 12V車で、⊖アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。

- マニュアル(MT)車・外国車には取り付けできません。

目 次

主な特長

■コンパクト設計

●指先サイズの超小型リモコン
……ポケットに入れても邪魔になりません。

●高性能ステルスアンテナユニット
……超小型アンテナユニットは、目立たずインテリアデザインに調和します。

■確実に飛ぶ！かかる！わかる！

●先進のS/N比改善プログラムによりノイズに埋もれた微弱な信号を識別し、通信性能を大幅UP！今まで受信しにくかった屋内やビルの陰でも確実にエンジンを始動。

■通信距離の目安

通信距離：最大3,500m（見通し）
都市部（ビル街）：300m（遮蔽物あり）〜1,000m
郊外（住宅街）：400m（遮蔽物あり）〜1,500m

ご注意

電波の届く距離は、地形・建物などの条件で変化します。

リモコン

●エンジンの状態をグラフィック表示
……エンジンの始動をデジタルメータ感覚のLEDで臨場感たっぷりに表示します。また、エンジンの始動、停止を音階ブザーを鳴らしわけお知らせします。

●エンジン始動指令時
……送信OK『♪ドレミファソ』、通信OK『♪ソファミレド』、エンジン始動OK『♪ドレミファソファミレド』

●エンジン停止指令時
……送信OK『♪ドレミファソ』、停止指示OK『♪ソファミレド』

■ロングライフ

1日10回使用で約1年間使用できます。

■セル時間設定

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0秒の7段階から選択できます。

■アイドリング時間設定

季節、気候にあわせてアイドリング時間を、2/10/15/20/30分の5段階から選択できます。

■グロー時間設定

最適なエンジン始動を行えるように、グロー時間を2.0/3.0/5.0/7.0/10.0秒の5段階から選択できます。

■ターボタイマー機能

走行時間にあわせてアフターアイドリング（30秒〜3分）を自動的に行うことができます。

■リモコンですべての設定が可能

アイドリング時間などの設定がリモコンから行えます。

多彩なオプション

■キーレスエントリー

（別売のA-17SF：キーレスエントリーを接続した場合のみ）

本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

ご注意

車種ごとにコントロールが異なるため、使用できない場合があります。また、別売のアダプターやドアロックハーネスが必要になる場合があります。

■ドア検出

（別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ）

本機によるアイドリング中にドアを開くと、エンジンが停止します。（アフターアイドリング中は機能しません）

■コンライトキャンセル機能

（別売のA-60を使用して、コンライト信号線に接続した場合のみ）

オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリーあがりを防ぎます。

ご注意

一部の車輌において、コンライトキャンセル機能が正常に動かない場合があります。

■ハザードアンサーバック機能

（別売のA-18SF：ハザード制御を接続した場合のみ）

別売 ハザード制御：A-18SFを接続し、本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後（リモコン操作後最大20秒以内）にハザードランプを3回点滅してエンジンの始動をお知らせします。また、本機によるアイドリング中にも、リモコン操作によりアイドリング状態の確認（3回点滅）ができます。
さらに、別売 キーレスエントリー：A-17SFまたは弊社オートキーレスシステム接続車は、リモコン操作またはオートキーレス機能によるドアロック/アンロック時に、ハザードランプを1回/2回点滅してドアの施錠・解錠をお知らせします。

■セキュリティ機能

（別売のAguilasES：セキュリティユニットを接続した場合のみ）

車輌のドア開放と衝撃を警戒し、異常を検知すると車輌のホーンを鳴らして警報します。本機リモコンのドアロック・アンロック操作で、セキュリティのON（警戒開始）/OFF（警戒解除）を操作できます。また、多彩なセンサ類（別売）でシステムアップが可能です。

■ドアミラーコントロール機能

（別売のA-35SF：ドアミラーコントローラを接続した場合のみ）

本機リモコンのドアロック・アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。

※適応車種限定　詳しくは弊社サービス部または販売店にお尋ねください。

■無線イモビライザー

（別売のA-23SF：無線イモビライザーを接続した場合のみ）

本機リモコンでドアロック操作（別売 キーレスエントリーの接続がない場合でも、イモビライザー機能は動作します）をすると、約15秒後から、車のキーではエンジンをかけられないようにできます。
本機リモコンでドアアンロック操作をすると、無線イモビライザー機能は解除されます。
別売 キーレスエントリーを併用すると、本機リモコンでドアロック時にイモビライザー機能が働きます。

メモ

- 無線イモビライザー機能は、スリープ機能が働いた場合でも維持されます。
  ※スリープ機能が働いた状態（無線イモビライザーを取り付けている場合）からエンジンを始動するときは、車のキーでドアを開け、エンジンキーをACCにした後、無線イモビライザー機能を解除してください。
- イモビライザー機能設定中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。

■イモビ対応アダプター

（別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ）

車輌純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。
本機取り付けにより、車輌のイモビライザー機能を損なうことはありません。

※エンジンスターターでの始動を除いて、車輌純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

■オートキーレスシステム（ラクシス）

（別売の弊社オートキーレスシステムを接続した場合のみ）

オートキーレスシステムのリモコンを所持しているだけで、"車に近づくとアンロック"、"車から離れるとロック"を自動で行う、一歩進んだキーレスエントリーです。

※AguilasESとの併用はできません。

ご使用の前に（安全上のご注意）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⃠ ⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警 告

シフトレバーは必ずパーキング（P）の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。

車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。

車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。

換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。

マフラーが雪で覆われるような降雪時には使用しない…排気ガスが車内に充満して大変危険です。

必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

煙がでている、異臭がするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。
- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき

走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

本機でエンジン始動をした際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。

車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

⚠注 意

あらかじめ駐車時には以下のことを守る
- ワイパー、ラジオ（オートアンテナ車の場合）をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。
  また凍結した場合、モーターや車種別専用ハーネスがヒューズ切れを起こし損傷する恐れがあります。
- 全ての窓を閉めてください。
- 全てのドアを施錠（ロック状態）してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。

本機を取り付けたことによる、車輌や車載品の故障、事故等の付随的障害については、一切その責任を負いません。

ご注意　電波法に関して

■リモコンやアンテナユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

■海外では使用しないでください。

■分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意　本機の機能について

■コンライトキャンセル機能を配線していない場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車※で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態で本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。

※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

ご注意　ご使用にあたって

■他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

■カーナビゲーションや、ラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子をはずす前に、必ずメモリー内容を控えてください。

■市販のターボタイマーと併用することはできません。

■オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。

■ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。

■ターボタイマー機能は、ご使用になる車輌により、まれに正常に働かないことがあります。

■イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターターで始動したときにセルがホールドする車輌では使用できません。

■リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。

■リモコンは簡易防滴構造ですが、濡れた手でさわったり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。

■リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

■リモコンを次のような場所に放置しないでください。
- 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。

■リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。

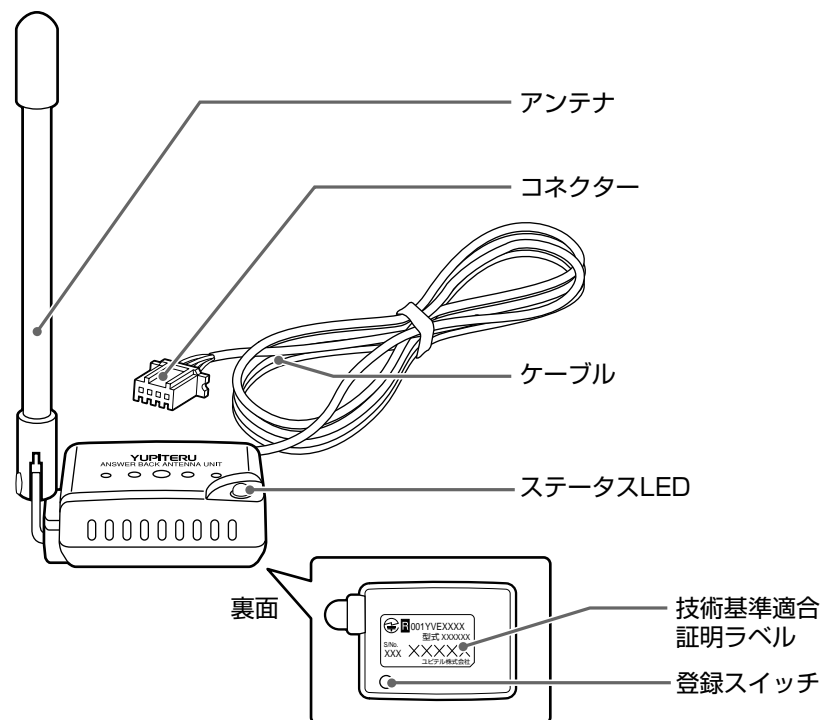
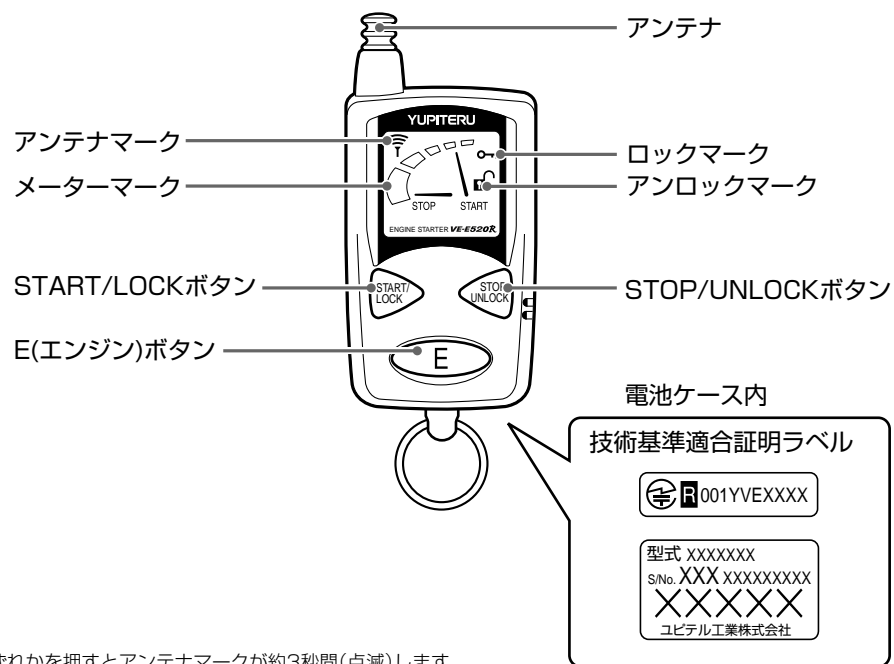
■リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

各部の名称

アンテナユニット

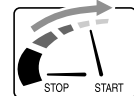
リモコン

ご注意

技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

● リモコンの表示ついて

リモコンのE･START･STOPボタンのいずれかを押すとアンテナマークが約3秒間(点滅)します。また電波を受信した場合は動作に応じたマークが約１秒間点灯(点滅)して、動作の完了をお知らせます。

エンジン始動(アイドリング)･停止時の表示

エンジンが始動した場合やアイドリング中の表示は、メーターマークの下段から上段方向に緑色でレベルアップ表示(点灯)して、エンジンがアイドリング状態にあることをお知らせます。
エンジン停止時は、メーターマークに下段部分が赤色に点灯(点滅)して、エンジンが停止状態にあることをお知らせします。

ポイント

各マークは点灯(点滅)後､バッテリーセーブのため消灯します。

電池の入れかた(交換のしかた)

本機リモコンには工場出荷時、電池を装着してありますが、この電池はモニター用の電池で記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。電池を交換する場合は右記手順で電池を交換してください。
なお、電池交換中は車輌周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には充分に注意してください。

電池の交換時期について

リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

電池寿命の目安

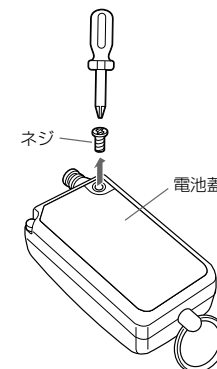
約1年を目安に新しい電池(CR2032　2個)と交換してください。

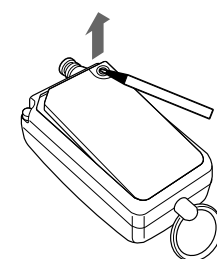
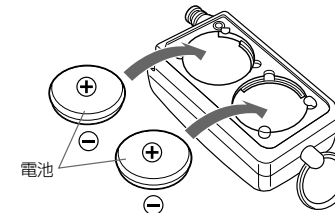
ご注意

- 電池の寿命は使用する条件によって異なります。
- 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

⚠警 告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

1 リモコン裏面のネジをはずす

※ ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 ボールペンなど先の細いものを使って、電池蓋を持ち上げる

3 電池の向きを確認して、セットする

※ 本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

4 電池蓋を取り付け、ネジを締める

エンジン始動～始動確認～停止/ドアロック/アンロック

本機操作の大まかな流れは以下のようになります。詳しい操作方法や動作は本書10ページから13ページをご覧ください。

エンジンを始動させる

Ⓔボタンを押す

アンテナマークが点滅します。

アンテナマークが点滅中に START/LOCK ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します

アンテナユニットからの信号を受信すると…

受信音『ソファミレド』が鳴り、アンテナマークが点滅します。

エンジンが始動すると、アンテナユニットがリモコンに信号を送ります

アンテナユニットからの信号を受信すると…

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、メーターマークが全て緑色で点灯して、エンジンの始動をお知らせします。

エンジンの始動を確認する

Ⓔボタンを押す

アンテナマークが点滅します。

アンテナマークが点滅中にもう一度Ⓔボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します

アンテナユニットからの信号を受信すると…

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、メーターマークが全て緑色で点灯して、エンジンがアイドリング中であることをお知らせします。

エンジンを停止させる

Ⓔボタンを押す

アンテナマークが点滅します。

アンテナマークが点滅中に STOP/UNLOCK ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を受信すると、エンジンを停止してリモコンに信号を送り返します

アンテナユニットからの信号を受信すると…

受信音『ソファミレド』が鳴り、メーターマークが赤色で点滅してエンジンが停止したことをお知らせします。

オプション対応。別売A－17SFの接続が必要です。

ドアをロック(施錠)する

START/LOCK ボタンを押す

アンテナマークが点滅します。

アンテナマークが点滅中にもう一度 START/LOCK ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を受信すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します

アンテナユニットからの信号を受信すると…

受信音『ソファミレド』が鳴り、ロックマークが緑色で点灯します。

ドアをアンロック(解錠)する

STOP/UNLOCK ボタンを押す

アンテナマークが点滅します。

アンテナマークが点滅中にもう一度 STOP/UNLOCK ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を受信すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します

アンテナユニットからの信号を受信すると…

受信音『ソファミレド』が鳴り、アンロックマークが赤色で点灯します。

ポイント

本機リモコン操作(エンジンの始動、停止、確認、ドアのロック/アンロック)をしたときに、アンテナユニットからの信号を受信できないと、リモコンからエラー音『ピー』が鳴ります。
このような場合は、もう一度最初からリモコンの操作を行ってください。

エンジンを始動させる

⚠注 意

●降雪時や寒冷地で車を駐車するときは…
車を駐車するときはワイパーなどの電源をOFFにしてください。本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで Ⓔ ボタンを押す

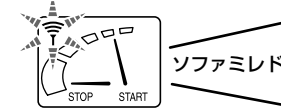
アンテナマークが点滅します。

2 アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで START/LOCK ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

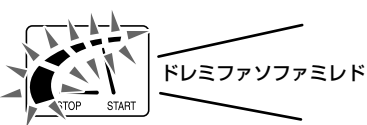
『ソファミレド』と鳴り、アンテナマークが点滅します。

※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。

設定されたグロー時間後にエンジンの始動を行います。

エンジンが始動すると

20秒以内に始動確認の信号をリモコンに送ります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、メーターマークが全て緑色で点灯して、エンジンの始動をお知らせします。

別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

アイドリング中は『ピッピッピッ』とジャンクションユニットから連続して鳴り、本機動作により、アイドリングしていることをお知らせします。

● エンジンが始動できないと

エラー音『ピーピピピッ』が鳴り、メーターマークが赤色で点滅します。
このようなときはもう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

メモ

- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

エンジンを停止させる

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで Ⓔ ボタンを押す

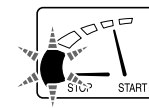
アンテナマークが点滅します。

2 アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで STOP/UNLOCK ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

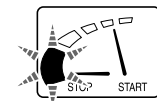
アンテナユニットが信号を認識すると、エンジンを停止しリモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、メーターマークが赤色で点滅してエンジンが停止したことをお知らせします。

エンジンの状態を確認する

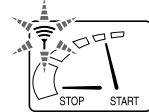
エンジンの始動／停止状態の確認ができます。

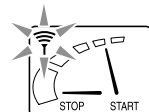
ご注意　キーでエンジンを始動した場合は確認できません。

● エンジンが停止中は

受信音『ピーピピピッ』が鳴り、メーターマークが赤色で点灯します。

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで（E）ボタンを押す

アンテナマークが点滅します。

2 アンテナマークが点滅中（約3秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまで（E）ボタンを押す

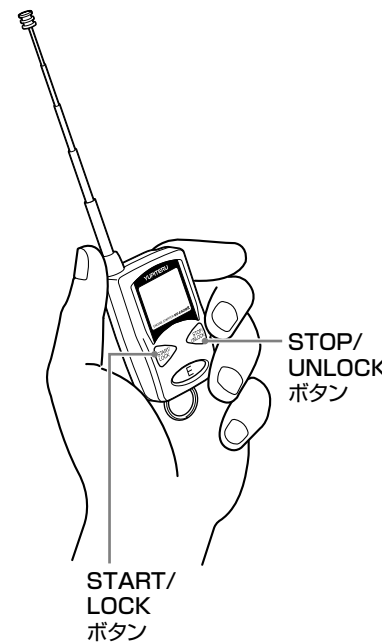
アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

アイドリング中は受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、メーターマークが全て緑色で点灯します。

別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅します。

ドアをロック/アンロックする（オプション対応）

ご注意　別売のキーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。

ご注意

キーでアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

ドアのロック（施錠）操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで（START/LOCK）ボタンを押す

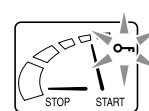
アンテナマークが点滅します。

2 アンテナマークが点滅中（約3秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度（START/LOCK）ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、ロックマークが緑色で点灯して、ドアのロック（施錠）をお知らせします。

ドアがロック（施錠）されます。

メモ

ハザード制御線（別売A-18SF）を接続すると、施錠と同時にハザードランプを1回点滅させることができます。

ドアのアンロック（解錠）操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで（STOP/UNLOCK）ボタンを押す

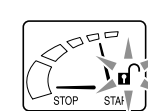
アンテナマークが点滅します。

2 アンテナマークが点滅中（約3秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度（STOP/UNLOCK）ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、アンロックマークが赤色で点灯して、ドアのアンロック（解錠）をお知らせします。

ドアがアンロック（解錠）されます。

メモ

ハザード制御線（別売A-18SF）を接続すると、解錠と同時にハザードランプを2回点滅させることができます。

⚠注 意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- 半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能※を搭載していませんので、リモコンでドアロックした場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。
  ※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック（リロック）する機能

セキュリティオプションを使う

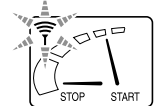
別売セキュリティユニット：AguilasESの取付が必要です。

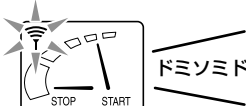
本機リモコンのドアロック・アンロック操作で別売セキュリティユニット：AguilasESの警戒・解除ができます。

ドアロック(アンロック)して警戒を開始(解除)する

本機リモコンをセキュリティモードにすると、ドアロックとともに警戒を開始(アンロックで警戒解除)することができます。また、警戒を開始せずにドアロックのみを行うこともできます。

警戒開始(ドアロック)操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで START/LOCK ボタンを押す

アンテナマークが点滅します。

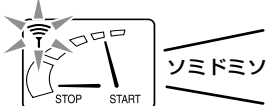
2 アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ドミソミド』が鳴るまでもう1度 START/LOCK ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

アンテナユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。

警戒解除(ドアアンロック)操作

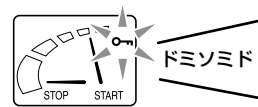
1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで STOP/UNLOCK ボタンを押す

アンテナマークが点滅します。

2 アンテナマークが点滅中(約3秒間)に、『ソミドミソ』が鳴るまでもう1度 STOP/UNLOCK ボタンを押す

アンテナマークが点灯に変わり、信号を送信します。

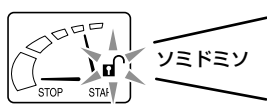
アンテナユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ドミソミド』が鳴り、ロックマークが緑色で点灯して、ドアのロック(施錠)をお知らせします。

警戒モード2にセットした場合は『ドミソミソ』が鳴ります。

ドアがロック(施錠)され警戒を開始します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ソミドミソ』が鳴り、アンロックマークが赤色で点灯して、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。

ドアがアンロック(解錠)され警戒を解除します。

メモ

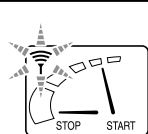
セキュリティユニットを取り付けていない状態でセキュリティモードのドアロック(アンロック)操作を行うと、エラー音『ピー』が鳴り、操作を無効にします。

ドアロックのみを行う(警戒を開始しない)

1 操作確認音『ドレミファソ』が鳴るまで START/LOCK ボタンを押す
操作確認音『ピッ』が鳴り、さらに押し続ける

受信音『ソファミレド』が鳴り、ロックマークが緑色で点灯して、ドアのロック(施錠)をお知らせします。

メモ

警戒を解除せずに、アンロックのみを行うことはできません。

警戒モードを変更する

本機リモコンでのドアロック操作は、警戒モード1での警戒となります。警戒モードを変更する場合は、警戒を開始するまでのスタンバイ時間中にもう一度ドアロック操作を行ってください。警戒モード2で警戒を開始できます。

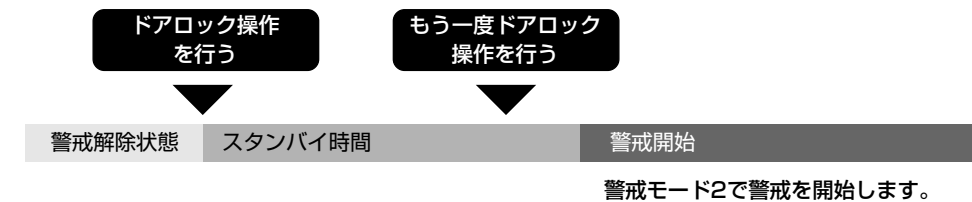
※警戒モードについて、詳しくはセキュリティユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

■警戒モード1で警戒する場合

警戒モード1で警戒を開始します。

■警戒モード2で警戒する場合

警戒モード2で警戒を開始します。

車への乗車

本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

車を発車させる

1 リモコン操作でエンジンを停止させる

☛11ページ「エンジンを停止させる」
※ 別売ドア検出線を取り付けている場合は、運転席ドアを開けると、エンジンが停止します。

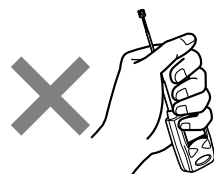
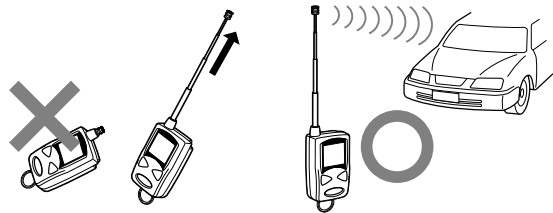
2 キーでエンジンを始動させる

リモコン使用時の注意とヒント

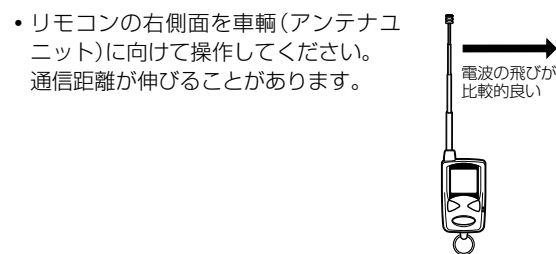
⚠警 告

車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

■安定した通信を行うために、次のことを守ってください

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

- リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。

- アンサーバック信号を受信するまではアンテナを収納しないでください。アンテナを収納すると、正常にアンサーバック信号を受信できません。
- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリーなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。

■通信が正常に行われずにエラー音『ピー』が鳴ってしまう場合は以下のことをお試しください。改善される場合があります。

- 車輌(アンテナユニット)とリモコンの間に障害物が無くなるような方向に車を駐車してください。
  障害物により電波が遮断されることがあります。
- リモコンの右側面を車輌(アンテナユニット)に向けて操作してください。
  通信距離が伸びることがあります。

- アンテナユニットをフロントガラス上部またはルームミラー裏に取り付けてください。
  アンテナユニットを高い位置に取り付けると通信距離が伸びることがあります。

ターボタイマー機能

ターボタイマー機能とは

走行後のアフターアイドリングを自動的に行う機能です。
なお、本機はこのターボタイマー機能を使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。
アフターアイドリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能ON時の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はパーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作し始め、キーを抜いた後も、アフターアイドリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

ポイント

キーでエンジン始動後、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外のポジションに1秒以上移動した場合にターボタイマー機能は動作します。
また、ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)
ただし、P・ポジション自動検出ができない車輌でP・ポジションインジケーターランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■オート方式のアフターアイドリング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドリングの時間が自動的に設定されます。

走行時間	アフターアイドリング時間
0分間〜10分間	約30秒間
10分間〜30分間	約1分間
30分間〜1時間	約1分30秒
1時間〜2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

ポイント

走行時間はエンジンキーONからの時間をカウントしています。

メモ

- アフターアイドリング中にリモコンでのエンジン停止の操作、またはシフトチェンジを行うと、エンジンは停止します。
- ターボタイマーのカウントダウンはシフトレバーがパーキング(P)に入ったときから開始されます。そのため実際のアフターアイドリング時間と上記の「オート方式のアフターアイドリング時間」は異なります。
- キーをOFFにしてからパーキング(P)にシフトチェンジした場合、ターボタイマー機能は働きません。

ご注意

カーラジオのON/OFFに連動してアンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

ターボタイマー機能のON/OFF設定ができます。設定を変更する場合は、右記「ターボタイマー機能の設定手順」に従って操作してください。

ご注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマー機能の設定を「OFF」にしてご使用ください。

⚠注 意

車を離れるときは必ず鍵をかけ、キーを携帯してください。車によってはアイドリング中またはキーが差し込まれている状態でリモコンによるドアのアンロック(解錠)ができないことがあります。

■ターボタイマー機能の設定手順

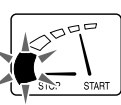
1 START/LOCKとSTOP/UNLOCKボタンを同時に操作確認音『ピッ』が鳴るまで押し続ける

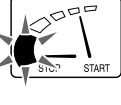
メーターマークの上段部分が緑色で点灯します。

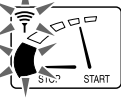
2 STOP/UNLOCKボタンを3回押してターボタイマー設定モード(項目音『ピピピピッ』)にする

START/LOCKまたはSTOP/UNLOCKボタンを押すたびに項目音が変わります。

3 Eボタンを押す。

『ドミソ』が鳴り、ジャンクションユニットと通信を開始し、設定値を読み込みます。
設定値が正常に読み込まれると設定値を示す設定音が鳴ります。
ストップマークが赤色に点灯します。
(工場出荷時はOFF設定　設定音『ピピッ』)

4 START/LOCKまたはSTOP/UNLOCKボタンでターボタイマー機能のON/OFFを選択する

START/LOCKまたはSTOP/UNLOCKボタンを押すたびにON『ピッ』/OFF『ピピッ』を切り替えることができます。

5 ご希望の設定を選択し、START/LOCKとEボタンを同時に操作確認音『ドレミ』が鳴るまで押し続ける

受信音『ミレド』が鳴り、ジャンクションユニットにターボタイマー機能のON/OFFを登録します。

ご注意

- 項目5の操作を行わないと、操作した内容は無効となります。
- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定確定後、アンテナユニットからアンサーバックがありますのでアンサーバックを受信するまでは、アンテナを収納しないでください。

次ページに続く

エンジンスターターの設定

本機は車輌や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輌の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セル時間の設定　（設定には専門知識が必要です）

車にあった、セル時間を7段階から選択できます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※工場出荷時は1.0秒に設定されています。

設定値	設定音
0.7秒	ピッ
1.0秒	ピピッ
1.3秒	ピピピッ
1.5秒	ピピピピッ
2.0秒	ピー
3.0秒	ピーピッ
5.0秒	ピーピピッ

ポイント

オルタネータ線(白線)を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を5段階から選択できます。

※工場出荷時は10分に設定されています。

設定値	設定音
2分	ピッ
10分	ピピッ
15分	ピピピッ
20分	ピピピピッ
30分	ピー

グロー時間の設定

一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

※工場出荷時は5秒に設定されています。

設定値	設定音
2.0秒	ピッ
3.0秒	ピピッ
5.0秒	ピピピッ
7.0秒	ピピピピッ
10.0秒	ピー

ご注意

グロー時間を7.0秒、10.0秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

ステータスLEDの点滅設定

本機待ち受け中にアンテナユニットのステータスLED を点滅させる／点滅させないの選択ができます。ステータスLEDの点滅により、カーセキュリティが動作しているようなイメージを与え、防犯効果が期待できます。

※初期値は点滅させるに設定されています。

設定値	設定音
点滅させる	ピッ
点滅させない	ピピッ

ポイント

待ち受け中とは、本機でエンジンの始動ができる状態を指します。

START/LOCK と STOP/UNLOCK ボタンを同時に項目音『ピッ』が鳴るまで押し続ける

「セル時間」設定モードになります。
メーターマークの上段部分が緑色で点灯します。

項目選択 設定する項目をSTART/LOCKまたはSTOP/UNLOCKボタンで変更します。 START/LOCK **項目戻る** / STOP/UNLOCK **項目進む**

設定項目はSTOP/UNLOCKボタンを押すごとに設置項目が以下のように変わります。（START/LOCKボタンを押した場合は逆順）

設定項目	「セル時間」	「アイドリング時間」	「グロー時間」	「ターボタイマー機能のON/OFF」	「ステータスLEDの点滅」
項目音	『ピッ』	『ピピッ』	『ピピピッ』	『ピピピピッ』	『ピピピピピッ』

- **セル時間を設定する**
- **アイドリング時間を設定する**：STOP/UNLOCK **ボタンを押す　項目音『ピピッ』**
- **グロー時間を設定する**：STOP/UNLOCK **ボタンを2回押す　項目音『ピピピッ』**
- **ターボタイマ機能のON/OFFを設定する**：STOP/UNLOCK **ボタンを3回押す　項目音『ピピピピッ』**
  ☛本書17ページ「ターボタイマー機能」
- **ステータスLEDの点滅を設定する**：START/LOCK **ボタンを押す　項目音『ピピピピピッ』**

設定したい項目の項目音とリモコンの音が一致したら次に進みます。項目音が確認できない場合は、『ピッ』が鳴るまでSTART/LOCKまたはSTOP/UNLOCKボタンを操作して、もう一度、項目選択を行ってください。

E ボタンを押す

『ドミソ』が鳴り、ジャンクションユニットの設定値を読み込みます。
ジャンクションユニットの設定値が正常に読み込まれると現在の設定値を示す設定音が鳴ります。
メーターマークの下段部分が赤色で点灯します。

START/LOCK または STOP/UNLOCK ボタンを押して、ご希望の設定値に対応した設定音が鳴るまで操作する

設定音は本書18ページを参照してください。

START/LOCKボタン……戻る　STOP/UNLOCKボタン……進む

設定内容の登録

START/LOCK ボタンと E ボタンを同時に確認音「ドレミ」が鳴るまで押し続ける

ジャンクションユニットに設定内容を登録します

※ 設定内容の登録を行わないと、設定前の動作となります。

設定内容がアンテナユニットに送信されます。
アンサーバック受信音『ミレド』が鳴り、設定内容が登録されます。

通常モードに戻ります
他の項目を設定する場合は最初から操作を行ってください。

ご注意

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定確定後、アンテナユニットからアンサーバックがありますので、アンサーバックを受信するまでは、アンテナを収納しないでください。

本機は一部の特殊な車輌でご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輌の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セルモータ停止タイミング検出方法選択 （設定には専門知識が必要です）

セルモータ停止タイミングの検出方法を選択できます。
セル時間を設定してもセルモータの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモータの引きずりがない場合は、設定変更しないでください。
※工場出荷時は「オルタネータ検出」（ブブッ）に設定されています。

設定音	設定値
「ブッ」	電圧検出
「ブブッ」	オルタネータ検出
「ブブブッ」	検出しない

ポイント

工場出荷時の設定（「オルタネータ検出」を選択）をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間（☛18ページ「セル時間の設定」）で、セルモータを停止します。
「電圧検出」選択時はオルタネータ線の接続は不要です。

ご注意

一部の車輌ではセルモータ停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモータの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

始動判定方法選択 （設定には専門知識が必要です）

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。
エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。
※工場出荷時は「判定する」（ブッ）に設定されています。

設定音	設定値
「ブッ」	「判定する」 各検出機能によりエンジンの停止を検出すると、アクセサリー電源などを停止状態（電源をOFF）にします。
「ブブッ」	「特殊判定」 エンジン始動の判定を特殊モードで判定します。

ご注意

特殊判定を選択したときは、エンジンの始動ができなかった場合でもアクセサリー電源などを停止状態（電源をOFF）にしませんので、頻繁にエンジンが始動しない状態が続く場合は、車輌のバッテリー上がりにご注意ください。

IG設定 （設定には専門知識が必要です）

特殊な場合（一部のホンダ車など）を除き、設定の必要はありません。
設定に際しては弊社サービス窓口にお問い合わせください。
※工場出荷時は「IG1＋IG2」（ブブブッ）に設定されています。

設定音	設定値
「ブッ」	IG1
「ブブッ」	IG2
「ブブブッ」	IG1＋IG2

エンジンスターター特殊制御の設定 （設定には専門知識が必要です）

一部の車輌においてセルモータの制御が不能となることがあります。このような車輌において使用する特殊制御のため、設定に際しては弊社サービス窓口にお問い合わせください。
※工場出荷時は「ON」（ブッ）に設定されています。

設定音	設定値
「ブッ」	ON
「ブブッ」	OFF

オールリセット

エンジンスターターの設定（☛18〜20ページ）をすべて工場出荷時の設定に戻します。
※「ステータスLEDの点滅設定」（☛18ページ）は「点滅させない」に設定されます。

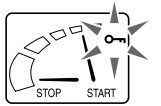
設定音	設定値
「ブッ」	工場出荷時に設定を戻す
「ブブッ」	工場出荷時に設定を戻さない

セキュリティモード

別売セキュリティユニット（AguilasES）を取り付けた場合の操作モードに変更します。セキュリティモードにすると、本機リモコンのドアロック操作で警戒を開始（アンロックで警戒解除）することができます。
※工場出荷時は「通常」（ブッ）に設定されています。
※セキュリティユニットを取り付けていない場合は、モードを変更しないでください。

設定音	設定値
「ブッ」	通常
「ブブッ」	セキュリティモード

START/LOCK と STOP/UNLOCK、E の3つのボタンを同時に項目音『チッ』が鳴るまで押し続ける

「セルモータ停止タイミング検出方法」の選択モードになります。
ロックマークが緑色で点灯します。

項目選択 設定項目はSTART/LOCKボタンまたはSTOP/UNLOCKボタンで変更できます。 START/LOCK **項目戻る** / STOP/UNLOCK **項目進む**

設定項目はSTOP/UNLOCKボタンを押すごとに設置項目が以下のように変わります。（START/LOCKボタンを押した場合は逆順）

設定項目	「セルモータ停止タイミング検出方法」	「始動判定方法」	「IG設定」	「エンジンスターター特殊制御」	「オールリセット」	「セキュリティモード」
項目音	『チッ』	『チチッ』	『チチチッ』	『チチチチッ』	『チチチチチッ』	『チチチチチチッ』

セルモータ停止タイミング検出方法を変更する

始動判定方法を変更する
STOP/UNLOCKボタンを押す
項目音『チチッ』

IG設定を変更する
STOP/UNLOCKボタンを2回押す
項目音『チチチッ』

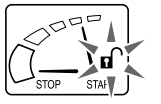
エンジンスターター特殊制御を変更する
STOP/UNLOCKボタンを3回押す
項目音『チチチチッ』

設定値を工場出荷時に戻す
START/LOCKボタンを2回押す
項目音『チチチチチッ』

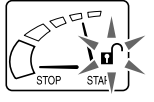
セキュリティモード
START/LOCKボタンを押す
項目音『チチチチチチッ』

設定したい項目の項目音とリモコンの音が一致したら次に進みます。項目音が確認できない場合は、『チッ』が鳴るまでSTART/LOCKまたはSTOP/UNLOCKボタンを操作して、もう一度、項目選択を行ってください。

E ボタンを押す

『ドミソ』が鳴り、ジャンクションユニットの設定値を読み込みます。
ジャンクションユニットの設定値が正常に読み込まれると現在の設定値を示す設定音が鳴ります。
アンロックマークが赤色で点灯します。

START/LOCKまたはSTOP/UNLOCKボタンを押して、ご希望の設定値に対応した設定音が鳴るまで操作する

設定音は本書20ページを参照してください。

START/LOCKボタン……戻る　STOP/UNLOCKボタン……進む

全ての設定値を工場出荷時に戻す場合はSTART/LOCKまたはSTOP/UNLOCKボタンで「工場出荷時に設定を戻す」（ブッ）を選択する

ジャンクションユニットの設定内容を工場出荷時の設定値に戻します

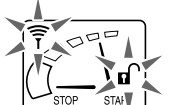
設定内容の登録

START/LOCKボタンとEボタンを同時に確認音「ドレミ」が鳴るまで押し続ける

ジャンクションユニットに設定内容を登録します
※ 設定内容の登録を行わないと、設定前の動作となります。

設定内容がアンテナユニットに送信されます。
アンサーバック受信音『ミレド』が鳴り、設定内容が登録されます。

通常モードに戻ります
他の項目を設定する場合は最初から操作を行ってください。

ご注意

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定確定後、アンテナユニットからアンサーバックがありますので、アンサーバックを受信するまでは、アンテナを収納しないでください。

バッテリー交換や本機の付け替え時の再設定について

車のバッテリー交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続している場合は、以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。（P・ポジション自動検出機能の確認をしないと、本機は動作しません）

ご注意

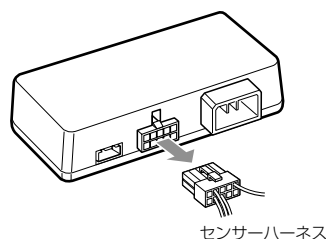
エンジンスターターの設定（18～21ページ）内容を記憶しているため取り付け車を変更した場合は再設定が必要です。

パーキング（P）・ポジション自動検出機能の確認

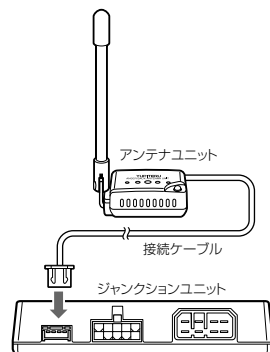
接続が終わっても、ジャンクションユニットを完全に固定する前に、バッテリーのマイナス端子をつないで、それぞれの接続が正しく行われていることを確認してください。

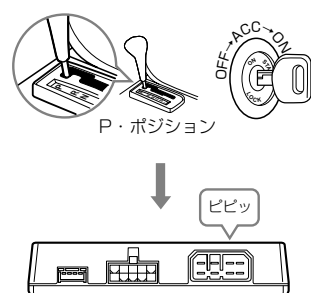
本機はP・ポジション自動検出機能の確認をしないと、動作しません。
一部の車輌では、P・ポジション自動検出できないものや、できにくいものがあります。

ご注意

パーキング（P）・ポジション自動検出機能の確認作業は、必ず、センサーハーネスを外した状態で行ってください。（ブレーキ検出線が接続された状態では、正しく検出できません）

1 **アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する**

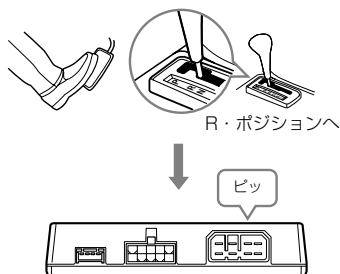
約3秒後に接続の確認を開始します。確認が終了すると『ピピピッ　ピピピッ　ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

※ 確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。

2 **シフトレバーがパーキング（P）・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える**

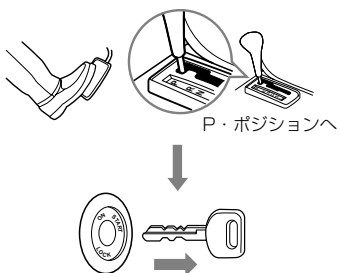
ジャンクションユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。

3 **ブレーキを踏んでシフトレバーをパーキング（P）・ポジションからリバース（R）・ポジションに切り換える**

ジャンクションユニットが約3秒後に『ピッ』と鳴ります。

P・ポジション自動検出機能を使用できることが確認できました。

※ 何も音がしない場合は、P・ポジション自動検出機能は使用できません。シフトレバーをP・ポジションに戻し、キーを抜いて23ページをお読みください。

4 **シフトレバーをパーキング（P）・ポジションに戻す**

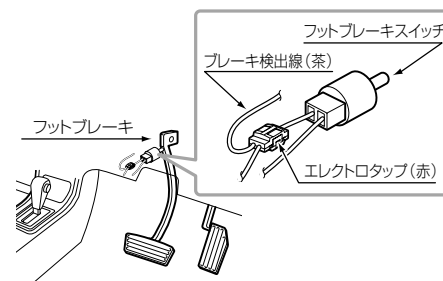
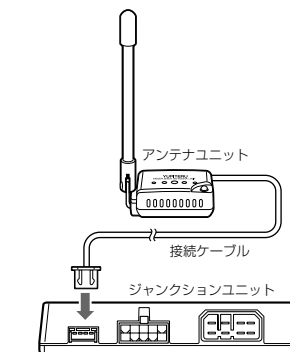
約2秒後にジャンクションユニットから『ピー』または『ピロロロロロ』が鳴ることを確認し、キーを抜きます。

※ 何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を、再度確認してください。

以上で初期設定は終了です。センサーハーネスを接続して必要に応じてエンジンスターターの設定を行ってください。
☛18～21ページ「エンジンスターターの設定」

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用しない場合の接続・設定

フットブレーキスイッチ配線にブレーキ検出線（茶）を接続します

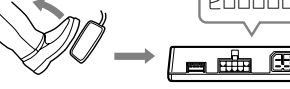
ブレーキペダルを踏んで12V、離して0Vまたはブレーキペダルを踏んで0V、離して12Vに電圧が変化することを確認してください

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。

1 **センサーハーネスを接続し、アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する**

2 **シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルは踏まずにキーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える**

3 **ブレーキペダルを踏む**

ジャンクションユニットが『ピッ』と鳴ります。

4 **ブレーキペダルから足を離す**

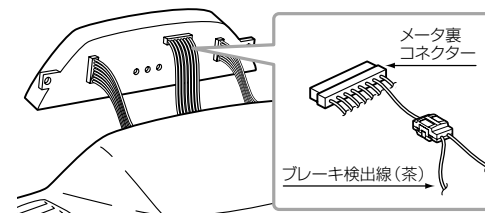
ジャンクションユニットが『ピロロロロロ』と鳴ります。

以上でP・ポジション検出は終了です。途中で確認音が鳴らない場合は車種別専用ハーネス、アース線の接続を確認してください。

以上で初期設定は終了です。必要に応じてエンジンスターターの設定を行ってください。
☛18～21ページ「エンジンスターターの設定」

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用する場合の接続・設定

P・ポジションインジケーターランプの配線にブレーキ検出線（茶）を接続します

シフトをパーキング（P）の位置にしたとき12V、パーキング（P）以外で0Vまたはシフトをパーキング（P）の位置にしたとき0V、パーキング（P）以外で12Vに電圧が変化することを確認してください。

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。

ジャンクションユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、「P・ポジション自動検出機能の確認」（22ページ）に戻ってP・ポジション検出を行ってください。

メモ

接続場所について詳しくは、弊社FAX情報ダイヤルでご確認ください。

リモコンの登録

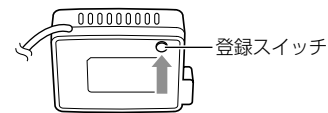
リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

※ リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

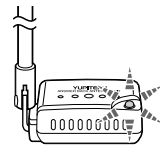
※ 手順の途中でステータスLEDが記載通りに点滅(点灯)しない場合は、手順6に進み、再度手順１から操作を行ってください。

リモコンの登録手順

1 **シフトレバーをＰ(パーキング)にして、パーキングブレーキをかけた状態でエンジンキーをOFFにする**

2 **アンテナユニットの登録スイッチを押す**

リモコン登録モードになります。
ステータスLEDが点灯します。

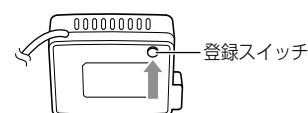
3 **ステータスLED点灯中(約10秒間)にエンジンキーをACCにする**

ステータスLEDが2回点滅します。

4 **登録するリモコンの（E）ボタンを押し、アンテナマーク点滅中(約2秒間)に『ドレミファソ』が鳴るまで（STOP/UNLOCK）ボタンを押す**

ステータスLEDが2回点滅します。リモコンから確認音『ピー』が鳴ります。

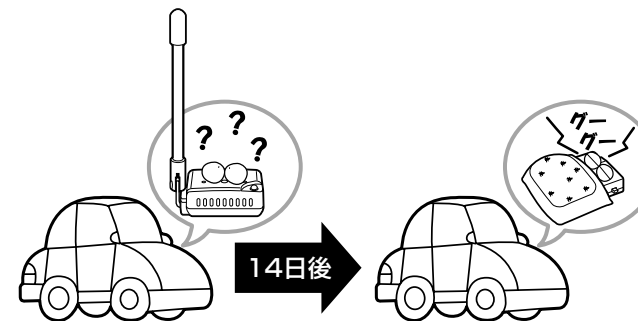
5 **もう一度、登録するリモコンの（E）ボタンを押し、アンテナマーク点滅中(約2秒間)に『ドレミファソ』鳴るまで（STOP/UNLOCK）ボタンを押す**

ステータスLEDが点灯(約2秒間)します。リモコンから確認音『ピー』が鳴ります。

6 **アンテナユニットの登録スイッチをステータスLEDが点滅するまで押す**

ステータスLEDが5回点滅後、消灯します。
通常モードに戻ります。

7 **エンジンキーをOFFにする**

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。
スリープ機能を解除するときは、１度キーを使ってエンジンを始動させてください。

本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下しているときは、キーで始動させる場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
☛22ページ「パーキング(P)ポジション自動検出機能の確認」

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※ 一部の車輌では、P・ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケーターランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■コンライトキャンセル機能
（別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ）

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※ 一部の車輌において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■ドア検出
（別売のA-60使用してドアスイッチに接続した場合のみ）

エンジンスターター動作中ドアを開くとエンジンが停止します。
（アフターアイドリング中は機能しません）

⚠警 告

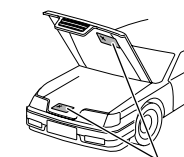
- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いておいてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。

ご注意ステッカー（小）

ご注意ステッカー（大）

その他

その他

エンジン始動関係

Q
リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。(アンテナマークが点滅する場合)

A
リモコンでのエンジンスタートができない場合は、以下の事項についてご確認ください。

エラー音『ピー』が鳴る
- キーでエンジンを始動していませんか？
- 電池が消耗していませんか？
- スリープ機能が働いていませんか？(25ページ参照)
- 車と離れすぎていませんか？
- パーキング(P)・ポジション自動検出ができていますか？ ☛22ページ「パーキング(P)ポジション自動検出機能の確認」
- それぞれのコネクターがジャンクションユニットにしっかり接続されていますか？

受信音『ソファミレド』が鳴る
- シフトレバーがパーキング(P)になっていますか？
- 車のバッテリーが弱っていませんか？
- エンジンスターターの設定が正しく設定されていますか？ ☛18～21ページ「エンジンスターターの設定」

Q
気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A
気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いため、セル時間を少しながめに設定してみましょう。☛18ページ「セル時間の設定」

Q
エンジンはかかるがすぐ停止してしまう。

A
エンジンの始動検出ができていないためです。
始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。また、「特殊判定」を選択した際に、確実にエンジンが始動することをご確認ください。「特殊判定」を選択して、エンジンが始動しないと車のバッテリー上がりの原因となります。☛20ページ「始動判定方法選択」

Q
リモコンを操作していたら、エンジンがかからなくなってしまった。

A
エンジンスターターの設定が変更されてしまった可能性があります。取り付け販売店にご相談ください。
☛18～21ページ「エンジンスターターの設定」

Q
リモコンのマークが点灯(点滅)しない。

A
- 電池が消耗していませんか？
- 電池が正しく入っていますか？電池の装着を誤った場合は、ショート状態により電池が消耗している可能性がありますので、新しい電池をご使用ください。

リモコン操作関係

Q
リモコン操作できる距離が短い。

A
- 本書16ページ「リモコン使用時の注意とヒント」をご覧ください。
- リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？
- アンテナユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- アンテナユニット(車)とリモコンの間に、障害物がありませんか？
- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリーなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。
- リモコンの右側面を車輌に向けると電波が届きやすくなることがあります。

Q
送信音『ドレミファソ』は鳴るが、受信音『ソファミレド』が鳴らずにエラー音『ピー』が鳴る

A
周囲の電波状況によっては、アンテナユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。
☛16ページ「リモコン使用時の注意とヒント」

ドアロック機能関係

Q
ドアロック、アンロックが動作しない。
(別売のキーレスエントリー：A-17SFの接続をしている場合)

A
車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、ドアをアンロック(解錠)できない場合があります。また、エンジンがかかっている状態でドアのロック、アンロックができない場合があります。

ターボタイマー機能関係

Q
ターボタイマーが働かない。

A
- ターボタイマー機能がONに設定されていますか？
  ☛17ページ「ターボタイマー機能のON/OFF設定」
- ターボタイマー機能はP・ポジション自動検出ができた場合、またはP・ポジションインジケーターランプにブレーキ線を接続している場合でターボタイマー機能をONに設定しているときに使用できます。また、ターボタイマーの機能は、シフトレバーがパーキング(P)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをパーキング(P)に入れる前に車のエンジンを切ったり、パーキング(P)のままアフターアイドリング時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。
  ☛17ページ「ターボタイマー機能とは」

Q
アフターアイドリング時間が短い。

A
ターボタイマーのカウントダウンは、シフトレバーがパーキング(P)に入った時点から開始されます。
☛17ページ「ターボタイマー機能とは」

その他

Q
付属のブレーキ検出線、オルタネータ線は接続するの？

A
ブレーキ検出線は、P・ポジション自動検出ができた車には接続する必要はありません。(P・ポジション自動検出ができた車に接続すると、誤動作する場合があります)
また、オルタネータ線は始動検出ができる場合は特に必要ありませんが、冬場など、寒い季節になると始動検出ができにくくなる車があります。

Q
車を使用する頻度が少なく、バッテリー上がりが心配。

A
14日以上、車の利用がないと、スリープ機能によってエンジンスターターの電流消費を抑えます。
スリープ機能が働くと、リモコンでの操作ができません。エンジンキーをACCにすると解除されます。

始動エラー音について

本機によるエンジンスタートやターボタイマー機能が動作しない場合は、エンジン始動失敗後にメインユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。
本機の動作に不具合があったときは、この『始動エラー音』を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

始動エラー音	不具合の検出
ピピピッ ピピピッ ピピピッ	Pポジションの検出ができていません。 ☛22ページ「パーキング(P)ポジション自動検出機能の確認」
ピー　ピー　ピッピッピッ	エンスト検出
ピー　ピー　ピー	エンジン始動異常
ピー　ピッ	エンジンスタータ動作中断時 P・ポジション検出
ピー　ピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ブレーキ検出
ピー　ピッピッピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
ピー　ピー	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
ピー　ピー　ピッ	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
ピピピッ	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
ピピピッ　ピッ	キー飛び込み

仕 様

■リモコン

適合技術基準　特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数　429.2375MHz
送信出力　10mW以下
使用電池　リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲　−10℃〜+50℃
寸法　30(W)×50(H)×18(D)mm(突起部含まず)
重量　32g(電池含む)

■アンテナユニット/ジャンクションユニット

適合技術基準　特定小電力無線局テレコント ロール用無線設備
送信周波数　429.2375MHz
送信出力　10mW以下
電源電圧　12V車専用(DC9〜16V)
(ジャンクションユニット)
消費電流　スリープ時：約4mA
待機時：約16mA(平均)
動作温度範囲　−20℃〜+80℃
寸法　アンテナユニット
:36(W)×27(H)×15(D)mm
(突起部およびアンテナ部含まず)
ジャンクションユニット
:111(W)×61(H)×26(D)mm(突起部含まず)
重量　アンテナユニット：62g(ケーブル含む)
ジャンクションユニット：116g

セット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

●リモコン(1)
※リモコン用電池 CR2032(2)は内蔵されています。
●ジャンクションユニット(1)
●アンテナユニット(1)
●アンテナ取り付けブラケット(1)
●センサーハーネス(1)
●エレクトロタップ(2)
●コードクリップ(2)
●タイラップ(大2、小1)
●マジックテープ(1)
●ご注意ステッカーシート(1)
●取扱説明書/保証書(本書)
●取付・接続説明書(1)

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

まず本書の26、27ページ「こんなときは」をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
取付販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンの登録について

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
※リモコンの登録にあたっては、本機にIDコードを登録する必要があります。(☛本書24ページ「リモコンの登録」)

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輌や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間　10：00～18：00　(年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター　**TEL. (0564)45-6515**

電子メールでのお問合せ先　**service@yupiteru.co.jp**

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：30　月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部　TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ)本書のご提示がない場合
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は本書30ページをご覧ください。

保 証 書
（持込修理）

本書は、本書記載内容（裏面記載）で
無料修理を行うことを、お約束する
のです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、
故障が発生した場合には、本書をご
示のうえ、お買い上げの販売店に修
をご依頼ください。

品 番	VE-E520R（テレコントロールエンジンスターター）	
S/No.		
お　い上　日	年　　月　　日	
保　証　期　間	お　い上げの日より3 対　部　車載ユニット（　モコンは1年。　耗部　は除く）	
お客	お名前	様
	ご住所	〒 TEL.(　　　)
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

※この印刷物は、環境にやさしい古紙100％
の再生紙と大豆油インキを使用しています。

R100 PRINTED WITH SOY INK

6SS0877